

しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R8,7,6 No,12

郡築小ホームページ

「保護者、教育者として知っておきたいSNSで後悔させない使い方」の講演から

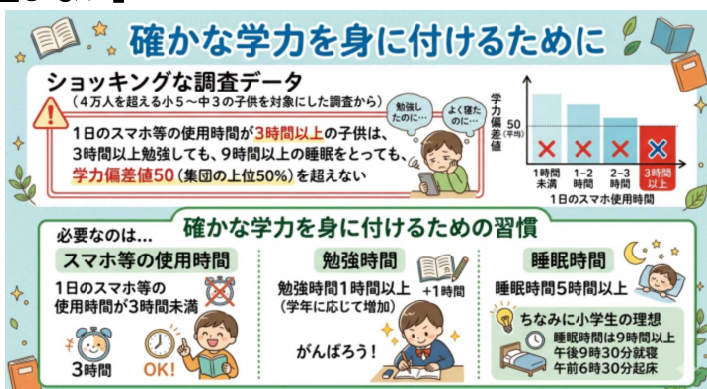
先日、「保護者、教育者として知っておきたいSNSで後悔させない使い方」をテーマにした研修で得たことを2回に分けてお伝えします。子育ての参考になれば幸いです。

「スマホ等の使用時間が長いと、学力は向上しない」

(4万人を超える小5～中3の子供を対象にした調査から)「1日のスマホ等の使用時間が3時間以上の子供は、3時間以上勉強しても、9時間以上の睡眠をとっても、学力偏差値50(集団の上位50%)を超えない」というショッキングなデータを示されました。

※ちなみに、「1日のスマホ等の使用時間が3時間未満であっても、勉強時間が1時間未満、睡眠時間が5時間未満だと、学力偏差値50(集団の上位50%)を超えない」というデータも示されました。

ここから、確かな学力を身に付けるためには、1日のスマホ等の使用時間が3時間未満で、勉強時間1時間以上(学年に応じて増加)、睡眠時間5時間以上(ちなみに小学生に適切な睡眠時間は9時間以上で、午後9時30分就寝、午前6時30分起床が理想)が必要ということが分かります。



「ショート動画やライバー動画を長時間視聴すると、集中力を失う」



「ショート動画やライバー動画を長時間視聴している子供は、(脳の)前頭葉が収縮して)集中力を欠くようになり、そういう子供は、約2時間の映画視聴や小説などの読書ができない、勿論授業にも集中できず、ぼーっとしたり、違うことをしたり、立ち歩いたりする。」と話されました。

脳の発達段階からすると、特に小学生には重要なことだと思います。ショート動画やライバー動画を見過ぎないようにさせると共に、親子で読書や読み聞かせ、趣味の共有などの時間を作られ、集中力を身に付けさせてほしいと思います。

「SNSを介したトラブルの原因は、多くの場合国語力にある」

「SNSを介したいじめなどのトラブルの原因の多くは、国語力にある。」「よって、国語力が身についていない子供にインターネットに繋がる物を持たせてはいけない。」「持たせる判断基準は、年齢ではなく国語力で判断する」と話されました。

これは、(国語力が身につく)メールやチャットで、「いつ・どこで・誰と・何をしに」がきちんと書ける。また、主語を明記し、相手に誤解されないような文章が書けると、トラブルが起きにくいということです。子供にも説明しやすい明確な判断基準だと思いました。

